

## メイヨークリニック研修に参加した方々からのレター

### 第 16 回(2007 年度)メイヨークリニック看護研修に参加して ーメイヨークリニック看護研修参加を終えてー

大内智恵

(国立大学法人 神戸大学医学部附属病院)

#### 1 はじめに

私が 2007 年度のメイヨークリニック看護研修に参加させて頂いたのは看護師をして 20 年たった時でした。

私は大学病院の I C U に勤務していました。次年度に 24 床から 36 床にする計画があり、増床分の看護師を新人看護師の大量採用で補うことになりました。I C U の 120 人のうち 60 人が新人看護師になることが決定していました。新人教育や I C U での看護ケアについてマグネットホスピタルではどのように行っているか興味が湧き、メイヨークリニック看護研修に参加したいと考え、上司にも応援を頂き、参加することができました。

#### 2 メイヨークリニックでの研修

メイヨークリニックの研修では、あらかじめ希望を伝え、それに沿って、担当のサンディさんがプログラムを作成されていました。最初のスケジュールには多くの空白があり、サンディさんと話し合いながら、研修計画にやりたいことをどんどん組み込んでいきます。それを毎金曜日に行うので、興味が広がってきた分野で、学ぶことができ、どの研修生も最後の一週間のスケジュールは真っ黒になっている状況でした。

私は、I C U のケアについて見学させて頂きました。その時、コメディカル全員が「この病院は本当にいい病院であり、ここで働くことを誇りに思う」と話されるのを聞き、羨ましく感じました。自分の組織に愛着が持てることは、モチベーションを高め、質の高い医療サービスに繋がるからです。そのようなメイヨークリニックで働く人たちと触れ合うにつれて、人的管理について興味が持ち、後半は副看護部長に人材確保や人材の定着について面談をさせて頂き、キャリア開発のプログラムに参加し、研究担当部門のチーフに看護研究をどのように行っているか、組織としてどう取り組んでいるかを聞かせて頂きました。その中で印象的だったことは、どの職員も、絶対に笑顔で人に接する姿や発言している人に敬意を表して聞こうとする姿勢、そして自信にみちた管理者の姿でした。また、研究に基づく数値で看護ケアの有用性を公示する大切さを学びました。

食いしん坊の私にとって特に印象的だったことは、研修や会議の時には必ずコーヒーやジュース、マフィンなどの焼き菓子がスタンバイされます。それぞれが好きな飲

み物を取り、リラックスしながら研修や会議をします。食べ物が用意されるから、会議や研修の時間が長いわけではなく、非常に短時間で決定まで行います。このメリハリの付け方は本当に感心しました。

研修生は、研修ばかりではなく、メイヨーのスタッフがアトラクションを考えてくれ、ディナーショー、ミシシッピー川の観光やホームステイもありました。ホームステイがあると聞いたときは、他人の家に一泊することに緊張していましたが、温かいもてなしとアメリカの高校生と母親の意見の相違を見て、万国共通なんだと思うことができ、いい経験になりました。最初はどこを見ても外人（あちらから見れば、こっちが外人ですが）が英語を話している環境が苦痛で仕方ありませんでしたが、4週間はあっという間に過ぎ、「一ヶ月ってこんなに短かった？」と思うほどでした。

### 3 研修を終えて

この研修では多くのことを学べます。また、多くの出会いと仲間を与えてくれます。このような経験は、自身のキャリアを考える時に大いに役立つことになると思います。私はこの研修を受けて、メイヨーの素敵な看護管理者たちが忘れられず、自分も看護師長になりました。私もあんな素敵な看護部をつくりたいと思うようになったから管理職を目指すようになりました。研修後、「この大学病院もマグネットホスピタルを目指しましょう」と看護部長に熱く語りました。看護部長には大いに喜んで話を聞いてくれましたが、気持ばかりで具体性がなかったので、提案は一蹴されました。それでも、マグネットホスピタルのように看護師が生き生きと働き続けることができる環境をつくるのが私の目標になっています。

今でも、私の中にメイヨーでの経験が生かされています。新人大量採用時の研修プログラムは、メイヨーでのICU新規採用者研修でのプログラムを参考にさせていただきました。キャリア開発を自律して行っているメイヨーの看護師を見て、私たち研修生のうち帰国後、3名が大学や大学院に進学しました。また、大学の助教になる人や海外支援をする部署に転属になった人もいます。私もこのままではいけないと思い、今年度から看護系の大学院に働きながら通っています。私にとって、この研修に参加したことで看護師として自分のこれからを考えるようになったことは間違いありません。これからも、多くの方が同じような経験をして、看護師としての自分を振り返り、キャリアについて考えてほしいと思います。英語が難しいと感じる方もいらっしゃると思いますが、周りがサポートしてくれます。何とかあります。それよりも一歩勇気を出してみてください。素晴らしい経験ができる研修に参加する意義の方が大きいと思います。

## 【プロフィール】

大内 智恵<おおうち ともえ>

- 1987年 神戸大学医学部医療短期大学部卒業。  
卒業後は神戸大学医学部附属病院 心臓血管外科病棟、  
I C Uに勤務。
- 2008年～ 消化器外科病棟師長に就任。同時に、キャリアラダー委員として  
病院内のキャリア開発に取り組む。
- 2012年～ I C Uに異動。神戸市看護大学大学院に進学し、働きながら看護  
管理について学んでいる。 現在に至る。